

「みんなで異見交論」 第10回

(Webセミナー)

2022年
7月2日(土)

テーマ

何が「教員不足」をもたらしたのか —— ブラック学校の未来を考える

教員を優遇するために制定された「給特法」。それがなぜ「ブラック学校の元凶」と言われるのか。「教員不足」と給特法はどう関係するのか。そこに飛び出してきた、教員免許が無くても採用できる制度の積極的な活用を促す文科省の「緊急通知」。学校は、子どもたちの学びはどうか。大学の教職課程は不要か。

今回の「みんなで異見交論」は、「給特法」で訴訟中の現役小学校教員・田中まさおさん（仮名）をお迎えし、学校の現状と未来について参加者の皆さんも交えて語り合います。

*「給特法」= 公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法。1971年に制定。勤務時間の管理が難しい教職の特殊性を考慮し、休日勤務手当や時間外勤務手当などを支給しない代わりに給料月額の4%を教職調整額として支払うことを定めている。

ゲスト

田中まさおさん(仮名)

埼玉県公立小学校教諭。教員の超勤に歯止めをかけるため2018年から訴訟中。2021年10月地裁判決、敗訴。2022年8月25日高裁判決予定。

<https://twitter.com/trialsaitama>



司会

松本美奈氏

東京財団政策研究所研究主幹、教育ジャーナリスト、一般社団法人Qラボ代表理事。上智大学特任教授、帝京大学客員教授。元読売新聞記者。著書に『異見交論 崖っぷちの大学を語る』（事業構想大学院大学出版部）、『特別の教科 道徳Q&A』（共著、ミネルヴァ書房）など。



開催日時

2022年7月2日(土)
14時から16時(120分)

参加費

無 料

プログラム

14:00～ 趣旨説明(5分)
14:05～ 田中まさおさん(仮名)の問題提起と司会とのトーク(55分)
15:00～ チャットによる質問を交えて議論(60分)
16:00～ 終了

開催場所

Zoomウェビナー(Web)

参加対象

教育と社会の今と未来に関心のある方

参加方法

チケット配布システムとして「Peatix」を使用しています。本イベントの詳細をご確認の上、「Peatix」よりお申し込み下さい。

主催

東京財団政策研究所

協力

ジアース教育新社

お申込みはコチラ

<https://webiken10.peatix.com/>



問い合わせ先

ジアース教育新社 (『文部科学教育通信』発行元)

E-mail info@kyoikushinsha.co.jp URL <https://kyoikutsushin.jp>